

# 昭和時代に乾杯

鶴崎 ひろし

シネマとジャズとアイビーで  
粹がる男が ひとりいた  
何時かは表に 出られると  
夢を信じた 青春時代  
遠き 遠き昔の ラヴソング

ジルバにマンボとステップを  
小気味にこなした 奴がいた  
魅惑のリズムに 乗せられて  
踊るダンスの ここちのよさは  
俺の 俺の心の ラヴソング

汗水流して・・・